

平成27年12月14日

只見町議会議長 齋藤 邦夫 様

経済文教常任委員会委員長 目黒 仁也

### 経済文教常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査事項について、調査経過並びに結果を下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1. 所管事務調査事項

- (1) 地域産業の振興に関する調査
- (2) 生活環境の振興に関する調査
- (3) 教育の振興に関する調査
- (4) 観光施設、交流施設の設置目的の検証と利活用に関する調査
- (5) J R只見線の早期全線復旧に関する調査

#### 2. 調査の経過及び結果

- (1) 調査事項 生活環境の振興に関する調査
- (2) 調査方法 事務調査、現地調査
- (3) 調査日 10月28日、11月27日
- (4) 出席委員 目黒仁也委員長、小沼信孝副委員長、山岸フミ子委員  
藤田力委員、佐藤孝義委員、中野大徳委員

#### 3. 調査結果及び意見

##### (1) 生活環境の振興に関する調査

当委員会では、10月28日、坂田・布沢地区の給水施設整備の実態調査並びに県道小林・宮下停車場線の現地調査を集落区長及び町担当課の立会により実施した。特に布沢太田集落では、本年春対岸山から発生した土砂崩れが今後集落給水施設機能へ影響することも懸念されるため、新たな集落営給水施設の事業推進と負担の軽減を求める要望を提出され、現在町当局と調査検討中である。本件は、住民生活に一日も欠かすことのできない水の問題であるが、世帯数の減少や高齢世帯化で負担の影響が大きく、集落内の改修合意が難しい実情もある。町営水道との負担の均衡に配慮しながら、支援措置を規定している現在の行政規則が時代の変化に見合うものかどうかも含め、今後更に町当局と調査検討を進めていくこととしたい。

以上